

「セイブ・ザ・チルドレン」の“戦犯”トニー・ブレアへの 功労賞授賞問題

[訳者注] 世界を憤慨させたこの問題について、いくつかの記事が存在するが、現時点で最も内部事情に踏み込んだこの記事を紹介する。これと、10/20 掲載の「エボラに真剣に対応しなかったことを認め、“無能なスタッフ”を責める WHO」を読み比べてご覧になるとよい。共通点が見つかるはずである。それは組織の支部が本部に相談せず、本部より上の命令者に従ったことである。その見えない命令者がどういう意図をもつ、どういう存在であるかは、自ずと見えてくるであろう。

By Ali Abunimah

Global Research, November 29, 2014



Abdulfatten al-Sisi と会談する Tony Blair —アルシシは、エジプトの、初めて民主的に選挙された大統領を倒した 2013 年 7 月軍事クーデタのリーダー (APA 写真)

「セイブ・ザ・チルドレン」(児童の権利を護る国際慈善団体) は、そのアメリカ支部が前英首相トニー・ブレアに与えた功労賞の報道を抑え、そこから生ずるダメージを“封じ込め”ようとしている。

しかし、この国際慈善団体の事務局長 Jasmine Whitbread がスタッフに宛て、漏えいした内部 e メールは、ブレアが 11 月 19 日、輝かしいニューヨークの祝典で受け取った“グローバル・レガシー賞”を、取り上げるつもりはないと言っている。

火曜日に、英紙ガーディアンは、「セイブ・ザ・チルドレン」のスタッフが、この賞をめぐる反乱を起こしていると報じた。

「我々は、この賞は不適切であり、セイブ・ザ・チルドレン創設の原理と価値観を裏切るものとする」と、200名以上のこの団体のスタッフが、管理部へ内部抗議の手紙を送った。

リークされた e メール

The Electronic Intifada へリークされた当団体の部下への内部 e メールで、「セイブ・ザ・チルドレン国際本部」の最高責任者ジャスミン・ホイットブレッドは、この賞をめぐる騒動は「プライドをもつ我々の神経を逆なでするもの」と認めた。

「私たちはみな、こういう立場に立たされたことに欲求不満と失望を感じている」と彼女は言ったが、この危機の責任は、この団体の残りのユニットに相談しなかった「セイブ・ザ・チルドレン米国」にあると言明している。

この慈善団体のアメリカ支部は、「単純に何も微妙な問題は起こらないと考えた」とホイットブレッドは書き、「アメリカではトニー・ブレアは、広く、国際的援助への貢献で非常にポジティブに見られている」と言った。

しかしホイットブレッドは、間違いを正して、多くの人々に戦争犯罪者とみなされているこの人物に贈った賞を取り下げる代わりに、批判を抑え込み、報道に圧力をかけることに、より関心があるようだ。

「ただいま、緊急に、チームが結成され、この状況を封じ込め、事態をこれ以上エスカレートさせて、子供たちのための更なる私たちの仕事の評判に傷がつかないように頑張っています。要点はこれでわかったので、これ以上この問題を報道することは子供たちのためになりません」と彼女は述べている。

彼女は「残念なことに、内部 eメールの、メディアへのリークもありました」と嘆いている。

ホイットブレッドの eメール全文は下にある。

国際的な憤慨

この授賞は、「人権ウォッチ協会」会長の **Kenneth Roth** によって強く非難され、彼は、ブレアはある「高い報酬を得ている独裁者の PR 要員」だとツイートした。



<https://twitter.com/KenRoth>

ブレアは、何十万という人命を犠牲にし、国土を荒廃させた、2003年のアメリカ主導のイラク侵略における彼の役割のために、広く悪評を得ている。

<http://www.thelancet.com/journals/lancet/article/PIIS0140673606694919/fulltext>

2007年に英首相の役を降りてからは、ブレアは、エジプトの独裁政権を含む、怪しげな政権との怪しげな取引によって、何百万という利益を得たことで、悪名が高くなった。

<http://www.theguardian.com/politics/2014/jul/02/tony-blair-advise-egypt-president-sisi-economic-reform>

彼はまた、いわゆる中東カルテット平和大使の役職を利用して、有力な人士に接触し、個人的なビジネスの利益を図ったことで非難されている。

<http://electronicintifada.net/tags/quartet>

<http://blogs.telegraph.co.uk/news/peteroborne/100277509/why-tony-blair-must-stand-down-as-middle-east-peace-envoy/>

11 万名以上の人々が、ブレアへの授賞を撤回するように「セイブ・ザ・チルドレン」に呼びかける、オンライン請願に署名している。

<https://you.38degrees.org.uk/petitions/stop-save-the-children-charity-from-giving-tony-blair-their-annual-global-legacy-award>

ジャスミン・ホイットブレッドのeメール全文：

To: SCI (セイブ・ザ・チルドレン国際本部) のスタッフ全員

親愛なる同僚の皆さま、

私は、最近、ニューヨークの例年の式典晩餐会で行われた、「セイブ・ザ・チルドレン米国」によるトニー・ブレアへの授賞についての懸念について、直接、書こうと思いましたが、世界中の子供たちのために私たちが行っている重要な仕事から言って、なぜ私がこの問題に焦点をあてるのか疑問に思う人もあるでしょう。しかし、それはプライドをもつ私たちの神経を逆なでするものです。そういう者として私は、これがどのようにして起こったのか、今後どうするのがよいのか、私たちがどうしたらそこから共に抜け出せるか、について共通理解をもつことが重要だと考えます。

まず、これがどのようにして起こったのかについて・・・

私たちは皆、こういう立場に立たされたことに、欲求不満と失望を感じています。しかし、これがどのように起こったのかは理解できると思います。我々の現行の仕組みでは、各メンバーが、各自の行動が我々のブランドと合意した方針に従うかぎり、売買や募金について自分で決定してよいのです。もし微妙な問題になりそうなら、相談すればよく、そういうケースがだんだん増えています。この場合には、SCUS (米国支部) は、単純に何も微妙な問題は起こらないと考えました。アメリカでは、トニー・ブレアは、国際的援助への貢献のために非常にポジティブに見られています。キャロリンはジャスティンに、招待状を送るように要請し、彼はキャロリンの役に立とうとして、そうしました。私が最初にそれを聞いたとき、それはすでに公にされており、私は即刻、キャロリンとジャスティンに連絡しました。彼らは、確かに、リスクを冒すより相談する方が正しかった、これからもっと気をつけねばならないと合意しました。

これと同時に、世界の各部署のスタッフが、憂慮を表明し始めました。私たちはあなた方の考えを尊重し、意見を聞きたいと思っています。内部で意見をかわした方たちの話を聞いたなら、大変役立ったと思います。私たちも直接そこに参加したかったと思います。スタッフの一部は、請願書に署名することで意見を表明することを選び、それは明日、提出されるようです。残念なことに、内部メールの、メディアへのリークもありました。

今後どうするのがよいかについて・・・

私たちは2つのレベルで、事態に対処しなければなりません。ともに緊急・重要です。ただいま、緊急に、チームが結成されて、この状況を封じ込め、事態がこれ以上エスカレートして、子供たちのための私たちの更なる仕事の評判が、傷つかないように頑張っています。要点はこれでわかったのだから、この問題についてのこれ以上の報道は、子供たちのためにならないでしょう。

重要なことは、信用を大切にし、これを再建し、私たちが過去数年の間、あれほど一生懸命そのために働いてきた共有の価値を護ることです。これには時間と努力が必要でしょう。・・・

私はこの事情にあまり心配をしていないと言うつもりはありませんが、我々は協力して、ここからもっとよい場所へ脱出できると確信しています。私たちが子供たちのために共にやっていることには、驚くべきことが沢山あります。我々の署名計画、我々のキャンペーン、我々の人道主義的反応は、世界の何百万という最も無視された子供たちにまで届いています。私たちはその焦点を見失ってはなりません。我々は一体としての「セイブ・ザ・チルドレン」として働き始めて、まだあまり時間が経っていません。この経験は苦痛ではありますが、我々の次の戦略を立てるのに利用しようではありませんか。私たちは2030年までに、子供たちのために世界を永遠に変える、かけがえのない機会をもっています——ただ経験から学び、共有する文化を築き、子供たちのために努力を集中するならば。

私の言うことに耳を貸していただいて感謝します。私もあなた方のご意見を聞きたいのでどうぞ遠慮なくご返事をください。

あなた方のもの
ジャスミン